

アガへ No.44

総主事 堤 弘雄

地球市民を育む

最近、地球市民という言葉がよく使われます。地球市民とは国境や人種、宗教に捉われず、環境や平和、人権など世界共通の人類の課題を地域の中で解決しようとする人、また、自分の住む地域の中の課題を世界に向けて情報を発信し課題解決に向けて協働できる人のことをさします。

今年の8月22日～28日、YMCA地球市民育成プロジェクト2009の合宿研修「日本YMCA地球市民研修」が国際青少年センター東山荘で開催されました。国内10の都市YMCA、3つの大学YMCAなどから24名、海外から20名の学生、指導者など合計60名が集いました。熊本YMCAからは日本語科上級クラスの柳甫佑さん(リュウ・ポギル/韓国出身)が参加しました。ワークショップでは、「多文化共生」「平和」「貧困と格差」「持続可能な社会」などのテーマについて問題意識を持つことができたと言ってくれました。

世界のYMCAでは、ユースの育成を目的に「地球市民認証制度」を設けています。修了者には世界各地のYMCA、国際機関・NGOでのインターンに至るまで様々な門戸が開かれます。

共通言語は英語を使用しますので、ステージが世界になるとやはり英会話の能力は必要ですし、積極的に発言していく能力も求められます。熊本YMCAは現在ユースの育成に取り組んでいます。未来を担っていく、より多くの若者に地球市民としての自覚とスキルを育み、託すことにより、未来においても人間や自然界のいのちが尊ばれる社会を持続させていくこともYMCAの大切な役割なのです。



9月26日(土)～27日(日)、「ゴールデンモンキータイムマシニングキャンプ」が阿蘇YMCAで行われ、メンバー55名を含む総勢91名が参加。英会話スクールの在籍生、国際ユースボランティア、YMCA学院日本語科に通う留学生など多様なボランティアがリーダーとして参加し、国際色豊かなキャンプになりました。

ごどもえいじ
タイムマシニングキャンプ

の未来に行ってしまったゴールデンモンキー(「尊敬心」を象徴する熊本YMCAのキャラクター)を探し出すというもの。子どもたちは普段習った英語を使って、未来の寿司メニューを想像してクラブに取り組み、将来のお仕事ゲームに挑戦。また、「自分年表作り」では、過去や将来のことを書くことを通じてこれまでの自分を見つめなおし、将来の自分について思いをめぐらしました。子どもたちが作ったそれぞれの年表は、今年度末に行われるコミュニケーションイベントで掲示されることになっています。

来年のキャンプでの再会を楽しみにしながら、思い思いの品をタイムカプセルに詰めて埋めた子どもたち。様々なアクティビティを通して、YMCAが大切にしている「思いやり」「誠実さ」「責任感」「尊敬心」の4つの価値について考えながら、想像力と創造性を育むことができました。



新たな希望と感謝を胸に
タイ留学生フェアウェルパーティー

北部タイ山岳少数民族の子どもたちを支援する里親運動の15周年を記念し、タイ「若竹寮」から熊本に留学していたプランとパニサラ・ターホンさん、ミツキーことアランヤ・セーフンさんがついに帰国。10月17日(土)にフェアウェルパーティー(お別れ会)が開かれました。里親の一人で、タイ留学生招聘プログラム実行委員長の川上安生さんは、「2人とも厳しい日本語科で優秀な成績を修めました。多くの方々の支えに感謝します」と挨拶。会場では留学生ス

リーの加来英雄さん、ゆりえさんに「自分の子どものように育ててくれました」と涙をこらえながら感謝の言葉を贈りました。同じ時間を共有した人たちが別れを惜しみつつ、2人の旅立ちを祝いました。

プランは「優しくしてくれた日本の人たちの心を伝えたい」、ミツキーは「今後は若竹寮を手伝い、子どもたちに日本語を教えたい」と話し、ホストファミリーの言葉が。

プランは「優しくしてくれた日本の人たちの心を伝えたい」、ミツキーは「今後は若竹寮を手伝い、子どもたちに日本語を教えたい」と話し、ホストファミリーの言葉が。



YMCA学院ボランティアデー

開催日時/2009年10月3日(土)9時～11時半
開催場所/中央YMCA周辺

熊本YMCA学院の全学科全クラスの代表で構成される学生委員会が中心となり、中央校舎で学ぶ学生たちが新町地域の一斉清掃に取り組みました。今回は、昨年よりも清掃範囲を拡大。清掃中に地域住民から「ありがとう」と優しく声をかけてもらい、あまり気乗りしなかった学生たちも最後までやりきることができました。集まったのは、ゴミ袋25袋分のゴミと自転車2台に傘7本。充実した時間を過ごし、次回の活動へ向け早くも意気込みを新たにしました。



すこと、食事、資源の利用など自分たちの生活について見直し、エコイズでは、日本のダムや食料問題、CO2の排出量などについて楽しく学びました。英語を使って環境のことを考えるよい機会になりました。

自転車で地球を守ろう!
BEE Japan来訪

開催日/2009年10月1日(木)
開催場所/上通YMCA

日本中を自転車で走りながら地球環境の保全を訴える外国人グループ、BEE(Bicycle for Everyone's Earth) Japanが、上通YMCAにやってきました。学校での講演会、街や海岸でのゴミ拾いなどに取り組みながら環境保護を訴えています。英語によるワークショップでは、ゴミを減らすこと、食事、資源の利用など自分たちの生活について見直し、エコイズでは、日本のダムや食料問題、CO2の排出量などについて楽しく学びました。英語を使って環境のことを考えるよい機会になりました。